

令和5年度 個人研究費研究課題名一覧(現代ビジネス学部現代ビジネス学科)

学科	職位	氏名	研究課題名
現代 ビ ジ ネ ス 学 科	教授 (学部長)	松本 茂樹	経済的理由で高等教育を享受できない人たちをサポートする事例研究
	教授 (学科長)	榎木 浩	AI・データサイエンスのビジネス活用に関する研究
	教授 (副学科長)	竹川 宏子	組織で働ける人材の育成に関する研究
	教授	石原 敬子	競争的環境の形成・維持と競争政策の役割
	教授	堀池 聡	データの高度処理による地域活性化に関する研究
	教授	高野 敦子	テキストを中心とした教育データの活用による学修者の特性分析に関する研究
	教授	金子 哲	A. 日本中世荘園・都市史研究 B. 日本中世社会思想史研究 C. 地域文化財の保護活用
	教授	李 良姫	観光人類学と経営学の融合から見る地域活性化戦略
	教授	笹平 康弘	メタ言語否定文における統語と意味の接点に関する研究
	教授	石川 夕起子	桂由美氏との連携によるブライダルにおける教育的な地域活性化の研究 ～国内外を視野に入れて～
	教授	橋本 尚史	日本銀行による異次元の金融緩和政策が金融市場に与える影響 ---2018年7月以降における市場の流動性の視点から
	教授	宮崎 光世	自治体DXにおける課題と対策 教育や地域創生におけるビッグデータ・デジタルツールの活用
	教授	斎藤 正寿	公教育制度導入に伴う社会・文化変容の研究 -植民地期インドネシアとオランダの制度的ダイナミズム分析を中心として
	准教授	森下 博	A. プログラミングによるデータ処理と可視化に関する研究 B. 課題の解決のためのアプローチとプロセスに関する研究
	准教授	中本 淳	家計に対する所得再分配政策の経済効果
	准教授	Cuomo Osaze	人工知能(AI)ツール、特に機械翻訳とコンテンツ生成が異文化コミュニケーションに与える影響を調査し、文化理解への影響、文化的ニュアンスを翻訳する効果、より広い社会的・教育的意味を検証する。
講師	土方 直子	「これからの時代のビジネス課題を考察する」 ①コミュニケーションツールに合わせた文章作成手法 ②ビジネスパーソンに必要な「エシカル消費マインド」の醸成	
講師	堀田 彰子	大学教育の国際化をめぐる考察-兵庫大学周辺地域における住民組織及び経済主体、地方自治体の視点をもとに	